

市民のひろば

市民の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



カノヤタイムトラベル「桜デパート」

鹿屋生まれ、鹿屋育ちの妻は、屋上遊園地や夏祭りの様子をよく話してくれます。「またあの頃のようににぎわう町になったらいいな」と言っていました。「若者が元気な鹿屋市へ」(たかちゃんさん・男性)

11月号(No.332)のカノヤタイムトラベルでは「まちに夢を与えた桜デパート」を掲載しました。たかちゃんさんのお便りを拝見して、小学生の頃(昭和50年代)、母親に「まちに行くよ」と言われると何かワクワク、うれしくなったことを思い出しました。当時はお年玉をもらっても、今のように元日から営業する店舗はほとんどなく、デパートや玩具店の初商の日を心待ちにしています。現在まちなかには、飲食店など新たな魅力も生まれていますので、ぜひ足をお運びください。

鹿

鹿屋に引越して半年が過ぎます。鹿屋は食べ物がおいしいとよく聞いてきました。海鮮、お野菜：その中でもやはり牛肉がとっても美味しいです。週1回は焼肉に行くぐらいです。11月23日にある肉焼まつりは楽しみで仕方ありません。前売券もバッチリ購入できました。(みーちゃんさん・女性)

「日本一和牛のふる里かのや」へようこそいらっしました。11月23日に開催した第43回鹿屋市農業まつりでは、農林水産物の展示即売会のほか、肉焼まつりや漁師飯グランプリ、振舞い鍋、豚の丸焼きなどが行われ、約3万1千人の来場者でにぎわいました。当日は、まさに鹿屋の食の祭典となり、肉焼まつりでは、800食が完売しました。週1回は焼肉に行かれるというみーちゃんさん、肉焼まつりのお肉はいかがでしたか。鹿屋に引越されて半年、まだまだ、鹿屋の美味しいものを開拓中ではないでしょうか。かのやポータルサイト「かのやファン倶楽部」では、おいしいお店も紹介していますので、ご参考になさってください。



先

日の農業まつりで「かのやグリーンパイヤ」を知り興味があつたため、購入した青パイヤ1コを甘酢につけたり、半分は豚肉と炒めたりして食しました。シャキシャキとした食感とクセのないサッパリとした性質、とっても気に入りました。家族に好評で、体にも良いと聞き、今後も取り入れたいと思う食材でした。(Y・Iさん・女性)

Y・Iさんは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」をご存知ですか。これは、全国の農業系の高校や大学校等と自治体が連携したプロジェクトチームがGAP食材を使い、ホストタウンの相手国をおもてなしするための料理コンテストです。鹿屋市×鹿屋中央高校×鹿屋農業高校チームは、「かのやグリーンパイヤ」や「かのや紅はるか」など地元食材を使用し、タイ王国のための全7皿のメニューで臨みます。全国から40チームが参加するコンテストは、1月15日までのインターネット投票と有識者の審査で上位入賞者が決定します。インターネット投票は、1日1回できますので、市民の皆様のお便りをお願いします。

い

つも隔から隔まですっかり見えています。鹿屋の中でも知らない場所や地域があり「ヘエー」とつぶやきながら拝見しています。情報掲示板で分かることも多く、ありがたいです。(ゆうりんさん・女性)

広報かのやをご愛読いただきありがとうございます。休日の多い年末年始には、いざという時のための休日当番医・歯科休日急患在宅医リストは必携です。ところで、ゆうりんさんは今号のスポットライトで紹介している高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」を観られたことはありますか。高校生の体当たりの演技と感動のクライマックスは思わず涙してしまいます。まだ観られたことがない方は必見です。これからも、読者の皆様の「ヘエー」を増やしていきたい。ような記事を掲載していきますので、2020年も応援よろしくお願ひします。

かのやばら園・霧島ヶ丘公園 いまが旬!



水仙

ばら園内にあるイングリッシュローズガーデンでは、12月後半から1月末頃まで水仙が見頃を迎えます。水仙の清楚で上品な香りを楽しんでみてはいかがでしょうか。